

# 第36回日本化粧品学会 プログラム

- 日時：2011年6月9日（木）、10日（金）  
場所：有楽町朝日ホール  
東京都千代田区有楽町 2-5-1 有楽町マリオン 11F Tel.03-3284-0131
- 交通：JR（山手線・京浜東北線）有楽町駅  
東京メトロ（有楽町線）有楽町駅  
東京メトロ（丸ノ内線・銀座線・日比谷線）銀座駅 下車徒歩1～2分
- 主催：日本化粧品学会  
協賛：日本化粧品工業連合会  
会頭：中村 陽子（湧永製薬）  
副会頭：千葉 勝由（ヤクルト）
- 大会参加費：会 員（事前）：10,000 円， 会 員（当日）：12,000 円  
：非会員（事前）：13,000 円， 非会員（当日）：15,000 円  
：学 生（当日のみ・要旨集込）：2,000 円（要学生証提示）
- 意見交換会：2011年6月9日（木）18：30～ 会費 8,000 円  
会場 コートヤード・マリオット銀座東武ホテル
- 参加予約：Web 受付 2011年4月初旬開始～2011年5月10日（火）締切  
<http://www.jcss.jp/> （Web 要領は同サイトにてダウンロードいただけます）

メインテーマ：『人と環境にやさしい化粧品サイエンス』

## 2011年6月9日（木） 1日目

- 9:30～ 9:35 開会挨拶 会頭 中村陽子（湧永製薬）
- 9:35～10:25 一般研究演題（I） 4題（発表8分，質疑4分）  
座長：杉林堅次（城西大）， 藤井まき子（昭和薬大）
- R01 アセトン処理による細胞間脂質ラメラ構造崩壊と再形成  
○八田一郎<sup>1</sup>，中沢寛光<sup>2</sup>，太田昇<sup>1</sup>（<sup>1</sup>高輝度光科学研究センター，<sup>2</sup>関西学院大）
- R02 角層細胞間脂質のラメラ構造と分光学的特性の関連  
○小幡誉子<sup>1</sup>，太田昇<sup>2</sup>，森脇太郎<sup>2</sup>，池本夕佳<sup>2</sup>，八木直人<sup>2</sup>，八田一郎<sup>2</sup>，高山幸三<sup>1</sup>  
（<sup>1</sup>星薬科大，<sup>2</sup>SPRING-8/JASRI）
- R03 角層間細胞脂質の微量構成成分に着目した透過性と膜物性に関する研究  
○油井研一<sup>1</sup>，吉野左江子<sup>1</sup>，酒井健一<sup>1</sup>，酒井秀樹<sup>1</sup>，阿部正彦<sup>1</sup>，内田良一<sup>2</sup>，坂本一民<sup>1,3</sup>  
（<sup>1</sup>東京理科大・理工，<sup>2</sup>Dermatology, University of California San Francisco, <sup>3</sup>千葉科学大・薬）
- R04 *In silico* 皮膚中濃度測定方法の有用性  
○押坂勇志，藤堂浩明，杉林堅次（城西大・薬）
- 10:25～10:55 会頭講演 座長：伊藤雅章（新潟大）  
「化粧品サイエンスの役割と薬事政策」  
中村 陽子（湧永製薬）
- 10:55～11:45 一般研究演題（II） 4題（発表8分，質疑4分）  
座長：渡辺晋一（帝京大）， 世喜利彦（資生堂）
- R05 化粧品による接触皮膚炎を疑いパッチテストを行った症例 2010年のまとめ  
○西村景子<sup>1</sup>，伊佐見真実子<sup>1</sup>，矢上晶子<sup>1</sup>，高橋正幸<sup>1</sup>，三和拓人<sup>1</sup>，森田雄介<sup>1</sup>，小林東<sup>1</sup>，  
佐野晶代<sup>1</sup>，古田加奈子<sup>1</sup>，美浦麻衣子<sup>2</sup>，鈴木加余子<sup>2</sup>，松永佳世子<sup>1</sup>  
（<sup>1</sup>藤田保健衛生大・医・皮膚，<sup>2</sup>刈谷豊田総合病院・皮膚）

R06 化粧品及び洗顔が皮膚常在菌に及ぼす影響

○沼田茂樹<sup>1</sup>, 赤松浩彦<sup>2</sup>, 赤座誠文<sup>1,3</sup>, 竹岡史帆里<sup>3</sup>, 佐々木靖之<sup>3</sup>, 水谷宏<sup>3</sup>, 矢上晶子<sup>1</sup>, 中田悟<sup>3</sup>, 松永佳世子<sup>1</sup> ( <sup>1</sup>藤田保健衛生大・医・皮膚, <sup>2</sup>藤田保健衛生大・医・応用細胞再生医学, <sup>3</sup>日本メナード化粧品・研究技術)

R07 三次元培養皮膚モデルを用いた皮膚刺激性試験において false-positive/-negative を引き起こす原因について

○藤堂浩明, 古井克典, 平井綾乃, 石井宏, 杉林堅次 (城西大・薬)

R08 ナノ化粧品の安全性確保および安全なナノ化粧品の開発に向けて  
～非晶質ナノシリカの生体内・細胞内局在解析と安全性情報の収集～

吉川友章<sup>1,2</sup>, 鍋師裕美<sup>1,2</sup>, ○吉岡靖雄<sup>2,3</sup>, 長野一也<sup>2</sup>, 阿部康弘<sup>2</sup>, 鎌田春彦<sup>2,3</sup>, 今澤孝喜<sup>2</sup>, 角田慎一<sup>2,3</sup>, 伊藤徳夫<sup>1,2</sup>, 堤康央<sup>1,2,3</sup>

(<sup>1</sup>大阪大院・薬, <sup>2</sup>医薬基盤研究所, <sup>3</sup>大阪大・臨床医工学融合研究教育セ)

11:45～13:45

昼休み (120分)

ポスターセッション 14 題 (責任在席 12:45～13:45)

P01 琥珀エタノール抽出物による Endothelin-1 発現抑制を介するメラニン産生の抑制

○佐藤希美<sup>1,2</sup>, 大原麻由<sup>1,2</sup>, 五十嵐則夫<sup>1</sup>, 小嶋聡一<sup>2</sup>

(<sup>1</sup>ヤマノビューティメイト・ヤマノ美容研, <sup>2</sup>理化学研究所・分子リガンド生物研)

P02 新規合成  $\alpha$  リポ酸誘導体はチロシナーゼ活性阻害効果を発揮する

○麻生結子<sup>1</sup>, 酒井久美子<sup>2</sup>, 萩原聡<sup>3</sup>, 河野洋平<sup>1</sup>, 猪股雅史<sup>1</sup>, 濱中良志<sup>4</sup>, 古賀寛教<sup>3</sup>, 緒方一美<sup>3</sup>, 守山正胤<sup>5</sup>, 横井功<sup>6</sup>, 野口隆之<sup>3</sup>, 北野正剛<sup>1</sup> (<sup>1</sup>大分大・医・総合外科, <sup>2</sup>大分大・全学研究推進機構, <sup>3</sup>大分大・医・麻酔, <sup>4</sup>大分大・医・細胞生物, <sup>5</sup>大分大・医・分子病理, <sup>6</sup>大分大・医・神経生理)

P03 新規合成  $\alpha$  リポ酸誘導体 DHL-TauZn は強力な美白効果を発揮する

○麻生結子<sup>1</sup>, 酒井久美子<sup>2</sup>, 萩原聡<sup>3</sup>, 河野洋平<sup>1</sup>, 猪股雅史<sup>1</sup>, 濱中良志<sup>4</sup>, 古賀寛教<sup>3</sup>, 緒方一美<sup>3</sup>, 守山正胤<sup>5</sup>, 横井功<sup>6</sup>, 野口隆之<sup>3</sup>, 北野正剛<sup>1</sup> (<sup>1</sup>大分大・医・総合外科, <sup>2</sup>大分大・全学研究推進機構, <sup>3</sup>大分大・医・麻酔, <sup>4</sup>大分大・医・細胞生物, <sup>5</sup>大分大・医・分子病理, <sup>6</sup>大分大・医・神経生理)

P04 新規  $\alpha$  リポ酸誘導体配合美白クリームのアンチエイジング効果

○河野洋平<sup>1</sup>, 麻生結子<sup>1</sup>, 酒井久美子<sup>2</sup>, 萩原聡<sup>3</sup>, 猪股雅史<sup>1</sup>, 濱中良志<sup>4</sup>, 古賀寛教<sup>3</sup>, 緒方一美<sup>3</sup>, 守山正胤<sup>5</sup>, 横井功<sup>6</sup>, 野口隆之<sup>3</sup>, 北野正剛<sup>1</sup> (<sup>1</sup>大分大・医・総合外科, <sup>2</sup>大分大・全学研究推進機構, <sup>3</sup>大分大・医・麻酔, <sup>4</sup>大分大・医・細胞生物, <sup>5</sup>大分大・医・分子病理, <sup>6</sup>大分大・医・神経生理)

P05 *Streptococcus thermophilus* が産生するヒアルロン酸を利用した化粧品素材の開発

○伊澤直樹<sup>1</sup>, 花水智子<sup>1</sup>, 世良田雅紀<sup>1</sup>, 曾根俊郎<sup>1</sup>, 大政健史<sup>2</sup>, 大竹久夫<sup>3</sup>, 千葉勝由<sup>1</sup>

(<sup>1</sup>ヤクルト, <sup>2</sup>徳島大院・ソシオテクノサイエンス研, <sup>3</sup>大阪大院・工)

P06 ビタミン C 不足による表皮の委縮：ビタミン C 合成不全 SMP30/GNL 遺伝子破壊ヘアレスマウスを用いた解析

○石神昭人 (東京都健康長寿医療センター研究所・老化制御)

P07 二酸化チタンとフラレンの併用によるヒト皮膚角化細胞および 3 次元ヒト皮膚組織モデルにおける紫外線防御効果

○加藤信哉<sup>1</sup>, 青島央江<sup>2</sup>, 山名修一<sup>2</sup>, 齊藤靖和<sup>1</sup>, 三羽信比古<sup>1</sup>

(<sup>1</sup>県立広島大・生命環境, <sup>2</sup>ビタミン C60 バイオリサーチ)

P08 新潟大学における理・美容師の職業性接触皮膚炎の検討

○藤本篤, 伊藤明子, 増井由紀子, 大湖健太郎, 伊藤雅章 (新潟大・皮膚)

P09 高分子を乳化剤として用いた乳剤性ローションからのジフェンヒドラミン放出に影響を及ぼす因子

○相内志織, 藤井まき子, 三浦慶子, 山田知実, 小泉直也, 渡辺善照 (昭和薬大)

P10 還元剤を利用した毛髪内部への浸透方法

○村越紀之, 小柳綾子, 伊賀由美子, 戸叶隆雄, 吉岡 正人 (成和化成)

P11 頸部・下顎部の形態及び皮膚表面性状の年齢的特徴

○小池都, 村上泉子, 丹野修 (カネボウ化粧品・スキンケア研)

P12 生体 2 光子顕微鏡による顔面皮膚光老化評価

○菅田慶一, 小山内宰, 佐野友彦, 武馬吉則 (花王・生物科学研)

P13 豊麗線の凹凸を用いた皮膚のたるみ計測

○田中敏幸, 滝沢光一 (慶應義塾大)

P14 ヒト肌の触診を模擬した球圧子押込試験による柔さ計測

○佐久間淳 (東京農工大)

13:45~14:45 一般研究演題 (Ⅲ) 5 題 (発表 8 分, 質疑 4 分)

座長: 横山浩治 (ポーラ), 佐野友彦 (花王)

R09 シワ発生モデルの共存培養系での構築と抗酸化剤の効果

○中島弘明, 江崎善之, 山本順寛, 芋川玄爾 (東京工科大・応用生物)

R10 幹細胞活性化剤カミツレ抽出液による皮膚老化予防

○高山悟, アルナシリ イダマルゴダ (一丸ファルコス)

R11  $\gamma$ -グルタミルトランスペプチダーゼ (GGT) 阻害剤による皮膚のアンチエイジング効果とそのメカニズム

○湯浅 (小島) 明子<sup>1</sup>, 平竹潤<sup>2</sup>, 渡辺文太<sup>2</sup>, 韓立友<sup>3</sup>, 湯浅勲<sup>1</sup>

(<sup>1</sup>大阪市大院・生活科学, <sup>2</sup>京都大・化研, <sup>3</sup>京都大・国際交流セ)

R12 化合物スクリーニングを目指した in vitro メラニン産生皮膚モデル

○佐倉武司<sup>1</sup>, 井尻宏志<sup>2</sup>, 森 肇<sup>2,3</sup> (<sup>1</sup>住友ベークライト, <sup>2</sup>京都工芸繊維大, <sup>3</sup>プロテインクリスタル)

R13 モネンシンは 3 次元表皮組織で ET-1+SCF 誘導色素沈着をメラノサイトでの CREB シグナルの減少により抑制する。

○若林雄希<sup>1</sup>, 中島弘明<sup>1</sup>, 若松一雅<sup>2</sup>, 芋川玄爾<sup>1</sup> (<sup>1</sup>東京工科大・応用生物, <sup>2</sup>藤田保険衛生大・衛生)

14:45~15:30 特別講演 I 座長: 中村陽子 (湧永製薬)

「化粧品安全・安心と表示 - 消費者の信頼を得る開発, マーケティング, 苦情対応」

松本 恒雄 (一橋大院)

15:30~15:45 休憩 (15 分)

15:45~17:45 シンポジウム I 「環境と皮膚免疫」

座長: 塩原哲夫 (杏林大), 正木 仁 (東京工科大)

1. 「フィラグリンと皮膚バリア機能」 天谷 雅行 (慶應義塾大)

2. 「角質水分量は皮膚アレルギー反応の強さを決めている」 水川 良子 (杏林大)

3. 「化学物質に対する皮膚免疫反応」 相場 節也 (東北大院)

4. 「腸内環境と皮膚生理」 南野 昌信 (ヤクルト)

17:45~18:00 理事長挨拶 川島 眞 (東京女子医大)

18:30~ 意見交換会 (コートヤード・マリオット銀座東武ホテル)

2011 年 6 月 10 日 (金) 2 日目

9:30~10:00 総会

10:00~10:50 一般研究演題 (Ⅳ) 4 題 (発表 8 分, 質疑 4 分)

座長: 徳永裕司 (医薬品医療機器総合機構), 小出千春 (コーセー)

R14 メディエーター産生に対するアルニカ抽出物の有用性

○西川恵美<sup>1</sup>, 相生章博<sup>1,2</sup> (<sup>1</sup>セプテム総研, <sup>2</sup>School of Med, University of Queensland)

R15 表皮角化細胞および繊維芽細胞におけるフコキサンチンの紫外線に対する保護作用

○矢野紗枝子<sup>1</sup>, 松下奈央<sup>1</sup>, 山田文人<sup>1</sup>, 菅原達也<sup>2</sup>, 平田孝<sup>2</sup> (<sup>1</sup>桃谷順天館, <sup>2</sup>京都大院・農)

R16 ヒト 3 次元培養表皮モデルを用いたポリリジン結合ヒアルロン酸の保湿効果の評価

○臼井あけ美, 加藤雅一, 篠原力, 渡部正利, 畠賢一郎 (ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング)

R17 超高度水酸化フラレンの抗酸化能および紫外線誘導性細胞傷害抑制効果

○斉藤靖和<sup>1</sup>, 宮西明史<sup>1</sup>, 加藤信哉<sup>1</sup>, 小久保研<sup>2</sup>, 青島央江<sup>3</sup>, 山名修一<sup>3</sup>, 三羽信比古<sup>1</sup>

(<sup>1</sup>県立広島大・生命環境, <sup>2</sup>大阪大院・工, <sup>3</sup>ビタミン C60 バイオリサーチ)

10:50～11:40 一般研究演題 (V) 4 題 (発表 8 分, 質疑 4 分)

座長: 芋川玄爾 (東京工科大), 打和秀世 (カネボウ化粧品)

R18 表皮バリア機能障害における脂質輸送の解析

○寺村崇, 畑毅, 増永卓司 (コーセー・研)

R19 皮膚バリア機能における温度感受性受容体 TRPV4 の役割

○大場愛<sup>1</sup>, 木田尚子<sup>1</sup>, 曾我部隆彰<sup>2</sup>, 須賀康<sup>3</sup>, 富永真琴<sup>2</sup>

(<sup>1</sup>ポーラ, <sup>2</sup>自然科学研究機構岡崎統合バイオサイエンスセ, <sup>3</sup>順天堂大・医・皮膚)

R20 三次元皮膚モデルへの脂肪細胞の導入

○宮本章子, 細井純一 (資生堂・リサーチセ)

R21 炎症性サイトカイン IL-1 $\alpha$  はリンパ管形成を抑制する

○吉川仁恵, 三井麻友美, 田中浩, 中田悟 (日本メナード化粧品・総合研)

11:40～13:10 昼休み (90 分)

13:10～13:55 特別講演 II 座長: 千葉勝由 (ヤクルト)

「環境変化と遺伝子の進化 – ヒトが進化の過程で失ったもの –」

颯田 葉子 (総合研究大学院大)

13:55～14:45 一般研究演題 (VI) 4 題 (発表 8 分, 質疑 4 分)

座長: 翠川辰行 (ライオン), 大島 宏 (ポーラ)

R22 秋田在住女性を対象にした 10 年以上に渡る長期皮膚老化追跡試験

○宮本久喜三<sup>1</sup>, 井上康子<sup>1</sup>, KeongPinghuai<sup>1</sup>, YanXianghong<sup>1</sup>, 吉井隆<sup>1</sup>, 古江増隆<sup>2</sup>

(<sup>1</sup>P&G イノベーション, <sup>2</sup>九州大院・皮膚)

R23 新規ビタミン E 誘導体 ETS-GS は MAPK を介した抗炎症作用を有する。

○萩原聡<sup>1</sup>, 酒井久美子<sup>2</sup>, 麻生結子<sup>3</sup>, 河野洋平<sup>3</sup>, 古賀寛教<sup>3</sup>, 猪股雅史<sup>3</sup>, 浜中良志<sup>4</sup>, 緒方一美<sup>1</sup>, 横井功<sup>5</sup>, 守山正胤<sup>6</sup>, 北野正剛<sup>3</sup>, 野口隆之<sup>1</sup> (<sup>1</sup>大分大・医・麻酔, <sup>2</sup>大分大・総合科学研究支援セ, <sup>3</sup>大分大・医・総合外科, <sup>4</sup>大分大・医・細胞生物, <sup>5</sup>大分大・医・神経生理, <sup>6</sup>大分大・医・分子病理)

R24  $\alpha$ -リポ酸誘導体の成人型男性脱毛に対する効果

○酒井久美子<sup>1</sup>, 濱中良志<sup>2</sup>, 萩原聡<sup>3</sup>, 河野洋平<sup>4</sup>, 猪股雅史<sup>4</sup>, 古賀教<sup>3</sup>, 麻生結子<sup>4</sup>, 緒方一美<sup>3</sup>, 守山正胤<sup>5</sup>, 横井功<sup>6</sup>, 野口隆之<sup>3</sup>, 北野正剛<sup>4</sup> (<sup>1</sup>大分大・全学研究推進機構, <sup>2</sup>大分大・医・細胞生物, <sup>3</sup>大分大・医・麻酔, <sup>4</sup>大分大・医・総合外科, <sup>5</sup>大分大・医・分子病理, <sup>6</sup>大分大・医・神経生理)

R25 DART イオン化法による迅速質量分析法の開発と応用

○島田治男<sup>1</sup>, 川西聡政<sup>1</sup>, 中谷善昌<sup>1</sup>, 則武佑佳<sup>1</sup>, 木下一真<sup>2</sup>, 志田保夫<sup>3</sup>

(<sup>1</sup>資生堂・リサーチセ, <sup>2</sup>バイオクロマト, <sup>3</sup>東京薬科大)

14:45～15:00 休憩 (15 分)

15:00～17:00 シンポジウム II 「環境を考えた化粧品テクノロジー」

座長: 西村哲治 (国立医薬品食品衛生研究所), 横井克士 (ヤクルト)

1. 「環境と共生する化学; グリーンケミストリー」 御園生 誠 (東京大名誉教授)

2. 「自然に学ぶ粋な暮らしとものづくり – ネイチャー・テクノロジー –」

石田 秀輝 (東北大院)

3. 「バイオプロセスを活用した機能性素材の製造技術 ~ バイオサーファクタントの生産と用途開拓 ~」

北本 大 (産業技術総合研究所)

4. 「化粧品開発における環境課題」

吉村 孝一 (KY サイエンス・テク)

17:00～ 閉会挨拶 次期会頭 伊藤雅章 (新潟大)

この度の震災で失われた尊い命に謹んで哀悼の意を表しますとともに、被災された皆様、ご親族、関係者の皆様へ心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復興を願っております。  
なお、第36回日本化粧品学会では節約運営で得られた余剰金や集めた寄付金を、義援金として日本赤十字社へ寄付する予定にしております。ご協力のほど よろしくお願い申し上げます。

2011/06/06

日本化粧品学会・公式サイト: <http://www.jcss.jp/>

問合せ先: 第36回日本化粧品学会事務局 Tel. 03-5389-6496 Fax. 03-3368-2827 E-mail. [jcss-desk@bunken.co.jp](mailto:jcss-desk@bunken.co.jp)